

2026 年 8 月 18 日
日本化学工業株式会社

チタン酸バリウムの生産能力増強について
AI 時代の高性能 MLCC 需要拡大に対応し、チタン酸バリウムの生産能力を増強

日本化学工業株式会社は、福島第一工場（福島県郡山市）において、チタン酸バリウムの生産設備を増強することを決定しましたので、お知らせいたします。

今回の設備増強により、チタン酸バリウムの供給能力を拡充し、AI データセンター向けを中心とした高性能 MLCC 市場の需要拡大に対応してまいります。

◆チタン酸バリウムの設備増強の背景

当社のチタン酸バリウムは、積層セラミックコンデンサ（MLCC）の誘電体として使用されています。近年、生成 AI の普及に伴う AI データセンター市場の拡大を背景に、AI サーバーや高速通信を支えるネットワーク機器、関連電子機器向け高性能 MLCC の需要が世界的に増加しています。MLCC 市場は今後も成長が見込まれており、とりわけ AI サーバー関連用途が市場拡大を牽引すると期待されています。

当社は長年にわたりチタン酸バリウム材料の研究開発に取り組み、微粒子合成技術や粒径制御技術など独自の技術基盤を構築してまいりました。近年では、AI サーバー向けをはじめとする高性能 MLCC 用途に対応した製品開発を進めており、国内外のお客様で採用が拡大しています。

今回の能力増強は、こうした需要拡大への対応と安定供給体制のさらなる強化を目的とするものです。さらに、市場の成長スピードやお客様の中長期的な需要拡大を見据え、生産能力の拡充、生産基盤の高度化およびサプライチェーン全体の強靱化に向けた取り組みを進めています。

本能力増強により、当社の電子セラミック材料における AI サーバー向け需要への対応力は、現行比約 1.5 倍に拡大する見込みです。なお、当該対応力にはチタン酸バリウムに加え、その原料である高純度炭酸バリウムも含めて算定しています。

チタン酸バリウムは、当社が長年培ってきた材料技術を核とする重要な戦略製品です。研究開発による新たな価値創出と生産基盤への継続的な投資を両輪として、今後も拡大する AI サーバー関連市場および電子部品市場に対する供給責任を果たし、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を目指してまいります。

◆増設概要

- (1)工場立地：福島県郡山市（日本化学工業株式会社 福島第一工場内）
- (2)能力増強：チタン酸バリウム生産設備の増強

(3)増強完了：2027 年度（予定）

(4)稼働開始：2027 年度（予定）

以上

【本件に関するお問い合わせ】

日本化学工業株式会社 I R 広報 TEL 03-3636-8060